

# がん検診に関する検討会中間報告

(平成16年, 3月)

## 検診の見直しについて(乳がん検診)

### (1) 検診方法

- マンモグラフィによる検診を原則とする。年齢による乳腺密度やマンモグラフィによる検診体制の整備状況を考慮して、当分の間は視触診も併せて実施することとする。

### (2) 検診対象年齢

- 40歳以上とする。
- 30歳代の視触診単独による検診及び超音波による検診については、今後引き続き調査・研究を進める必要がある。

### (3) 検診間隔

- 2年に1度とする。

# がん検診の死亡率減少効果評価判定

(新たながん検診手法の有効性の評価報告、厚生労働省久道班、2001.3)

## I 群 I a 検診による死亡率減少効果があるとする、十分な根拠がある

擦過細胞診による子宮がん検診

視触診とマンモグラフィ併用による乳がん検診(50歳以上)

便潜血検査による大腸がん検診

## I b 検診による死亡率減少効果があるとする、相応の根拠がある

胃X線検査による胃がん検診

視触診とマンモグラフィ併用による乳がん検診(40歳台)

胸部X線検査と高危険群に対する喀痰細胞診併用による肺がん検診(日本)

肝炎ウイルスキャリア検査による肝がん検診

## I c 検診による死亡率減少効果がないとする、相応の根拠がある

H pylori抗体測定による胃がん検診

胸部X線検査と高危険群に対する喀痰細胞診併用による肺がん検診(欧米)

直腸診による前立腺がん検診

視触診単独による乳がん検診

## I d 検診による死亡率減少効果がないとする、十分な根拠がある

該当なし

## II 群 検診による死亡率減少効果を判定する適切な根拠となる研究や報告が現時点で見られないもの

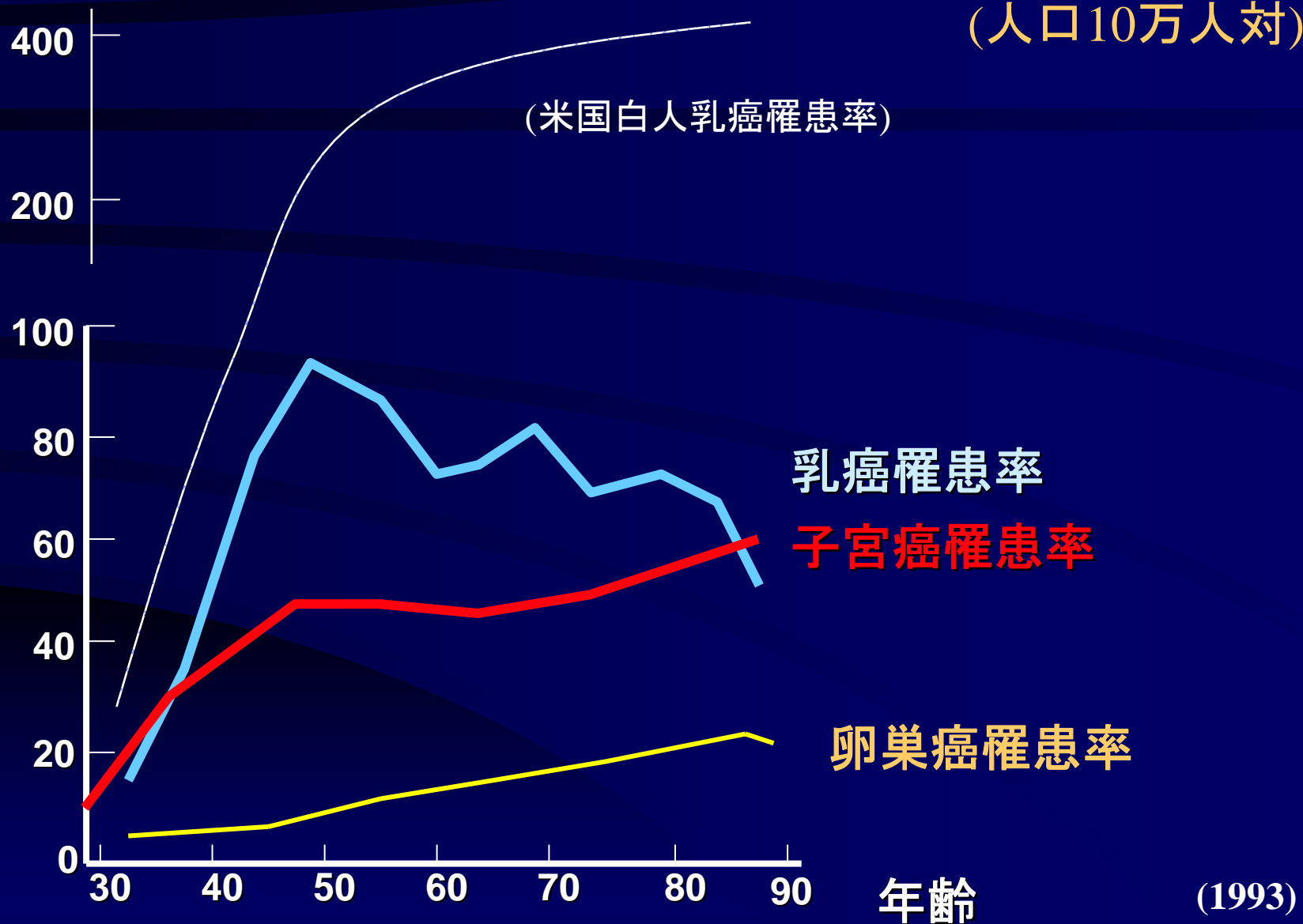
血清ペプシノゲン法による胃がん検診

超音波検査による乳がん検診

ヘリカルCTと高危険群に対する喀痰細胞診併用による肺がん検診等

# 本邦における年齢階層別婦人科癌罹患率

(人口10万人対)



## 乳房の構成による各検診方法別の乳がんの検出頻度

方法	マンモグラフィ上の乳房の構成			
	脂肪性	乳腺散在	不均一	高濃度
視触診	22%	32%	29%	35%
マンモグラフィ	96%	83%	64%	48%
超音波	—	66%	81%	76%
視触診＋マンモグラフィ	100%	88%	75%	63%
マンモグラフィ＋超音波	—	100%	98%	94%

(Kolbら、Radiology、2002)

## アンケート調査結果

### —検診別感度・特異度・早期乳癌比率—

#### 40歳代女性

検診方法	感度	特異度	早期乳癌比率
逐年視触診単独	0.873	0.918	0.620
逐年超音波単独	0.750	0.998	0.533
逐年視触診・マンモ併用	0.938	0.898	0.800
逐年視触診・超音波併用	0.935	0.929	0.819
逐年マンモ・超音波併用	0.950	0.997	0.701
隔年視触診・マンモ併用	0.810	0.898	0.800

\* 超音波検査の隔年データなし

(栗山ら、厚生労働省がん研究助成金による  
「乳がん検診の精度及び効率の向上に関する研究」  
第2回班会議資料、平成16年)

## シミュレーション分析結果

### 40歳代女性

	未検診	逐年検診					隔年 視触診・ マンモ
		視触診	超音波	視触診・ マンモ	視触診・ 超音波	マンモ・ 超音波	
救命数(人)	751.6	812.9	790.7	851.6	855.1	847.0	828.4
費用/生存年数 (×10 <sup>3</sup> 円)		1638.1	1154.9	1835.6	1294.5	1130.2	1122.9

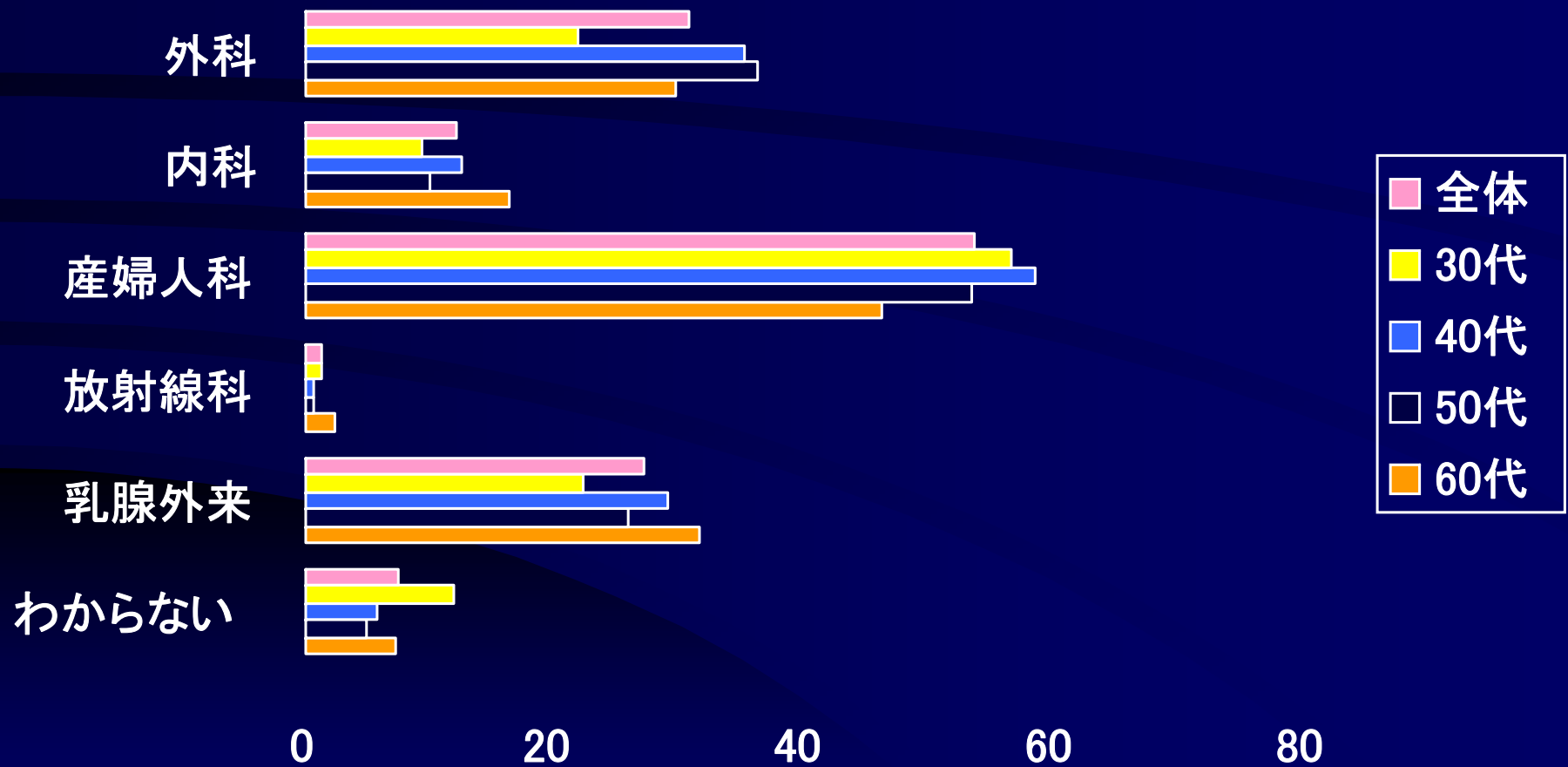
(栗山ら、厚生労働省がん研究助成金による  
「乳がん検診の精度及び効率の向上に関する研究」  
第2回班会議資料、平成16年)

## 茨城県における乳癌検診（平成13年より）

対象年齢	検診事項
30歳以上39歳まで	視触診（年1回）＋超音波（年1回）
40歳以上56歳まで	視触診（年1回）＋超音波（年1回） ＋マンモグラフィ（2年1回）
57歳以上65歳まで	マンモグラフィ（2年1回）

# 乳癌が心配なときに受診する科

首都圏および愛媛県の女性 (30代~60代) 652名



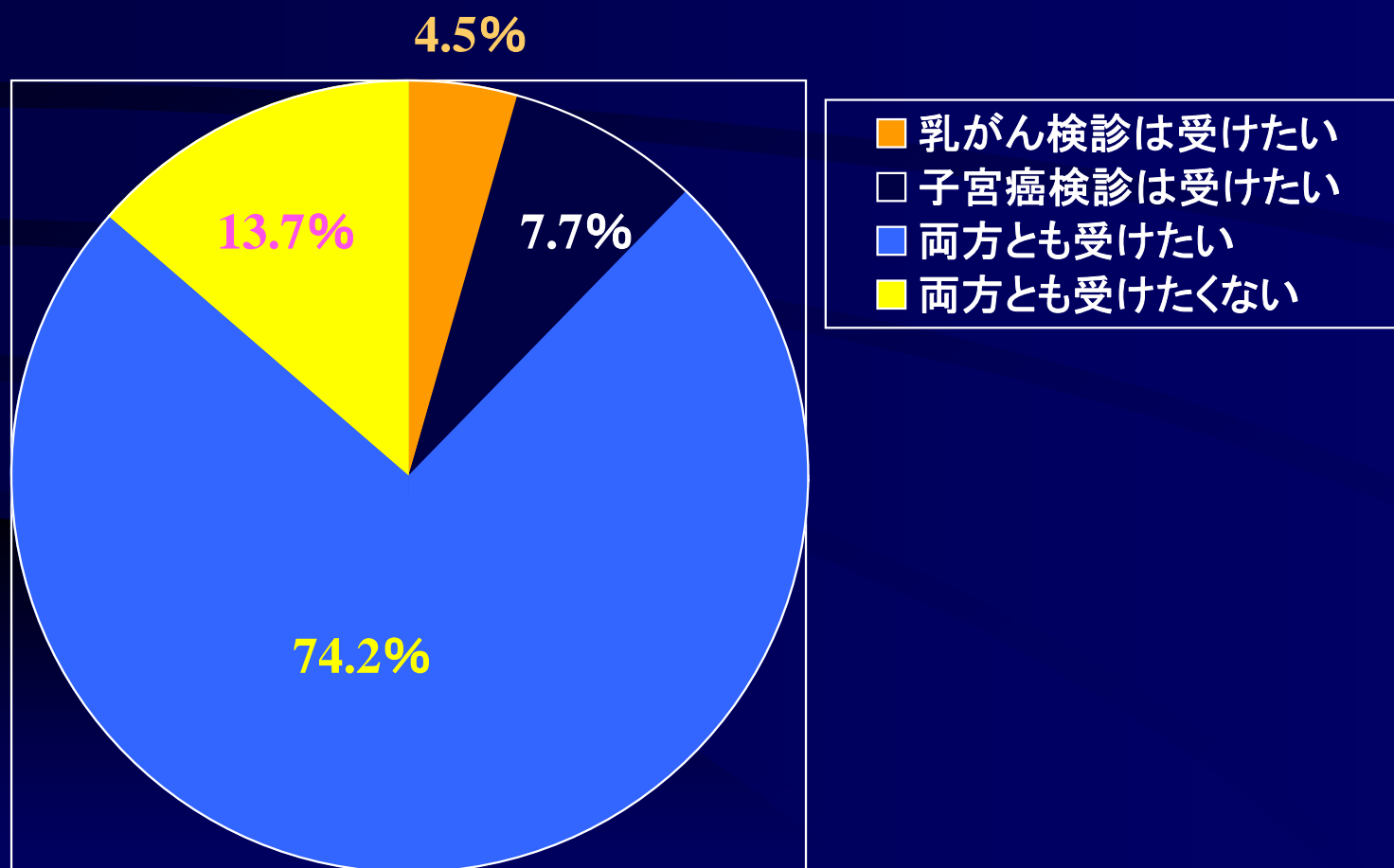
乳房健康研究会(2003)



# 婦人科検診の受診意向

主婦の健康意識アンケート(30代～50代、各200名)

2004年5月



# マンモグラフィ検診受診に影響を与える因子

Seguraら (1999) Spain, 8867名 (50歳～64歳)

	RR
年齢 (対50-54)	
55-59	0.87
60-64	0.58
定期的に産婦人科受診	4.13
子宮癌検診を受けている	3.87
乳房自己検診をしている	1.10
自己・家族の乳癌の既往	1.18
乳腺疾患の既往	1.54
最近 general physician 受診	1.12
毎月血圧をチェックしている	1.01
健康に気を遣っている	0.77